

おかめ

め

新聞

戸田屋正道

初夏号

おかめマークは、創業者のおばあちゃんの似顔絵です。戸田屋正道のイメージにピッタリなので、イメージキャラクターに採用しました。今ではすっかり戸田屋正道のブランドイメージになっています。

おかめファンクラブ

Special!

戸田屋のお客様にはおはなしをうかがいました。



ファンクラブナンバー 045

浄土真宗 真宗大谷派 正覚山 心縁寺
第十四世住職 **張崎 正裕**さん



鳥居忠政公から保科氏、松平氏、奥平氏と歴代の山形城主が帰依した、心縁寺の現住職。認定子ども園 かしのみ幼稚園 お日さま理事・園長。ままけはくらぶ発起人。

コロナ禍の今、「ままけはくらぶ」で学生たちに食べもの支援を

新型コロナウイルスの感染拡大は大学生たちにも大きな影響を与えている。山形大学近くにある心縁寺（しんねんじ）の住職・張崎さんは、学生たちの苦境を知り、「ままけはくらぶ」を立ち上げた。

きっかけは張崎さんが駐車場を貸している山大学生（コロナで今、大変だよな」と聞くと、「私はまだいい方、本当に困っているのはアルバイトすることを前提に進学している学生たちだ」という。アルバイト収入がなくなっても、仕送りを増やしてもらえない学生たちは、毎日の食事にも困っているという。お寺には檀家が供物として盛り籠を贈る習慣があ



「ままけはくらぶ」食糧提供の様子

る。「それらを学生たちに分けてあげられないか」。張崎さんが真宗大谷派山形教区仏教青年会のメンバーに相談すると、たくさんの食料が集まった。「米はおいしいけれど高い。炭水化物がうれしい」という学生の声から、米やパスタ、レトルトカレーなどの他に、買い足したカップヌードル、さらに門徒さんからの味噌や醤油なども届いた。2月末には山大学生や済生館の看護学生に、40人分を渡すことができた。4月の末にも実施し、次回は7月を予定している。戸田屋さんのお付き合いは何十年にもなる。「オリジナルのまんじゅうをお願いすれば、大人数の集まりでも、ちゃんと数をそろえてくれるのが、戸田屋さんの信用できるところ。味はもちろん、材料も磯部理念に基づいた安全で安心できるもの。そういった材料を取り寄せられるというのがすごいね。おいしくて門徒さんからの評判もよく、私たちも大変うれしいです。」と語ってくれた。

隠居日和

隠居 戸田正宏

白血病から這い上がった池江璃花子の活躍は日本中、歓喜の涙を流しました。大リーグの大谷翔平の快進撃が止まりません。松山秀樹が日本人初の全米クラシックマスターズを制し、グリーンジャケットを着ることが出来ました。

1年前は渋谷日向子がAIG全英女子オープンに初出場しメジャー制覇。しぶこスマイルも記憶に新しい所です。フィギュアスケートの羽生結弦やプロテ

ニスの大坂なおみの活躍は言うまでもありません。その他、各スポーツ界において日本の若者の活躍が本場に目覚ましく、コロナ禍の鬱積したストレスを心地よく発散させてくれます。

さて、白鷹町出身の力士、白鷹山関が入幕目前で足踏みです。当店の若女将のいとこの子供が白鷹山関というご縁ですが、この度、後援会が発足し本人も闘志満々で本場所に臨むことが出来ました。しかし五月場所は残念ながら負け越してしまいました。次の場所に期待するにしましょう。

大相撲に入門する人は、恵まれた体つきや、気性が備わった人ばかりでありません。稽古は親に見せられぬほど激しいものですが、その稽古に耐えて、力士の最初の目標は十両入りを果たし、関取となる事でしょう。月給がもらえ、付き人が付き、化粧廻しや大銀杏を結うことが許されます。大相撲の力士は全体で約650人いますが、十両以上の関取は70人です。あとの殆どの力士は給料も貰えずに角

界を去ります。何も、大相撲に限った事ではありませんが、スポーツの世界は厳しい実力の世界です。一度掴んだ栄光も、やがてまた別の人に取り替わる運命にあります。因みに、山形県出身の五輪選手の中で、冬季五輪も含めて金メダルを獲得した選手は60年以上も前、メルボルン大会にレスリング選手として出場した笹原正三ただ一人です。実は、笹原正三は山商時代、柔道部に所属していました。時のGHQから武道を禁じられ、大学進学後、レスリングに転向しました。その笹原正三の金メダルは母校山商の事務室前に展示してあります。山商創立百周年の時に本人から寄贈されたものです。

医療現場の逼迫も切実な問題と大変心配していますが、東京五輪、どうか中止にならないで下さい。必ず世界中が明るさを取り戻し、コロナ疲れの癒しとなります。

そして、日本勢の活躍を全国民が見守っています。「ガンバレ、ニッポン！」



高校卒業後、戸田屋でお世話になっています。家庭で食事を作る機会が多かったことから食にかかわる仕事がしたいと考えていた時、戸田屋の求人を見つけ、お菓子が好きだった私は「ここで働きたい!」と思い、入社を決めました。

仕事は想像していた以上にハードで、辛くなることもあります。それ以上に商品をきれいに作れた時や、先輩方からほめていただいた時、辛いこと以上の嬉しさがあり、とても楽しく仕事ができています。まだ、スピードが遅いと注意されることがありますが、効率よくきれいな商品を作れるようになるため、一日一日成長していきたいです。

ニューフェイス



ちょうなん みく **長南 海玖**さん
山形市出身。2021年4月入社。

OKAMENEWS!



この度、弊社会長が出版した句文集「宥座の器」が山形市芸術文化協会優秀賞を受賞いたしました!ご購読頂いた皆様にご心より感謝申し上げます。今後も店頭にて閲覧、ご購入頂けますので、ご興味のある方は是非とも手に取ってご覧くださいませ。